

行政視察報告

議会運営委員会

伊予市議会においても合併後第3期目を迎え、平成25年6月に議会改革

特別委員会を設置し議会改革に取り組む中、11月11日、13日にかけて福島県須賀川市と会津若松市へ視察研修を行った。

両市議会の議会改革の取り組みの中で、議会からの政策形成の実例と課題について、市民に対する議会報告会について、正副議長・正副委員長の任期について、政務活動費の在り方及び公開について等を主な調査項目として説明を受け、質疑応答がなされた。

須賀川市では、市民から議会の姿が見えないとの批判が多い中、議会活動の公開として、本会議のライブ中継及び映像配

信システムの運用を平成19年から開始した。

また、平成12年から要
点筆記であった常任委員
会会議録を委託による全
文反訳とし、平成18年か
ら本会議の会議録とあわ
せてホームページにて公
開している。

会津若松市は、議会改
革の推進に対しての先進
地であり、そのモデルと
して注目し、研修した。

議会改革の基本理念
を、「市民の負託に応えう
る合議体たる議会づくり
を目指して」とし、平成
19年5月より議会基本条
例及び議会議員政治倫理
条例の制定を目指し、平



福島県会津若松市での研修

成20年6月の公布に至る
までの議員一丸となった
取り組み状況の報告を受
けた。

今回の研修において、
議会改革の先進地である
両市議会から得ることが
できた内容、知識を本市
の議会改革にも反映させ、
今後の本市における開か
れた議会の構築に努めて
いきたい。

総務委員会

10月8日、10日につ
て群馬県大田市、栃木県
足利市、千葉県白井市の
視察研修を行った。

大田市では1%まちづ
くり事業として、地域住
民が行う地域コミュニ
ティをより活性化させる
取り組みで、市税の1%
程度を財源として助成を
行い、地域の人たちの知
恵と労力により、市税を
2倍、3倍に有効活用し
ようとするものであった。
アイデア次第でいろいろ



千葉県白井市の循環バス

ろな事業が実施可能で、
例えば、花いっぱい事業、
野菜作りや米作りの体験
事業、地域防犯活動事業
などがあった。

足利市のゼロ予算事業
は、新たな予算を伴わず
に成果を得られるものを、
職員一人一人の創意工夫
と新しい発想で立案、実
施する事業である。これ
により、職員の積極性、
モチベーションの向上、
市民サービスの向上、市
がやっていることをPR
できるなどの効果があり、
平成24年度には42件の提
案があった。
また、いち課いち押し
事業として、先進的な取

り組みや他市と比較して
充実している事業を各課
から募集し、多くの人々
に市政に対する理解や市
の魅力を積極的にPRし
ていた。

千葉県白井市では循環
バス「ナツシー号」につ
いて視察を行った。

交通不便地域の解消や
交通弱者である小学生、
高齢者等の交通手段の確
保など市民生活の利便性
向上のため、平成12年9
月から運行している。

本市においても、今後
実施予定のコミュニテイ
バスの運行に向けて参考
にすべき点が大いにあり、
本市のさらなる発展に生
かしたい。

民生文教委員会

10月22日、24日につ
けて千葉県いすみ市、北海
道釧路市の視察研修を
行った。

いすみ市では、平成22
年に開催された国体の